

平成26年度 第1回熊本大学建設工事等入札監視委員会議事概要

|                         |  |   |
|-------------------------|--|---|
| 開催日時及び場所                | 平成27年3月2日(月) 13時30分～15時45分<br>熊本大学工学部1号館2階 共用会議室B            |   |
| 委員                      | 委員長 三浦宏之(三浦・江越法律事務所)<br>委員 外山啓太(福岡監査法人)<br>委員 齊藤郁雄(熊本高等専門学校) |   |
| 審議対象期間                  | 平成26年4月～平成26年12月   |   |
| 抽出案件(合計)                | 9件   | (備考)<br>・今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。<br><br>・文部科学省入札監視委員会の点検事項を参考に抽出された案件について個別に審議を行った。 |
| 工事(小計)                  | 9件   |   |
| 一般競争<br>(政府調達協定対象工事)    | 0件   |   |
| 一般競争<br>(政府調達協定対象工事を除く) | 8件   |   |
| 公募型氏名及び<br>公募希望型競争      | 0件   |   |
| 通常指名競争                  | 0件   |   |
| 随意契約                    | 1件   |   |
| 設計・コンサルティング業務           | 0件   |   |
|                         | 意見・質問  | 回答  |
| 委員からの意見・質問とそれに対する回答等    | 別紙のとおり   | 別紙のとおり  |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容      | なし   |   |

## 別 紙

| 質 問   | 回 答   |
|---|---|
| <b>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・手続の運用状況等について（報告）</b>  |   |
| 資料1；総括表(建設工事)<br>（平成26年4月～平成26年12月契約分）<br>・平均落札率の考え方について                                      | ・契約金額合計を予定価格合計で除して算出している。   |
| 資料2；総括表（建設・コンサルティング業務）<br>（平成26年4月～平成26年12月契約分）<br>・特になし                                      |   |
| 資料3；指名停止等一覧表<br>・特になし   |   |
| <b>2. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の審議について</b>  |   |
| <b>資料4：（京町）教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事</b><br><b>【一般競争入札（最低価格落札方式）】</b><br><b>審議事項：落札率50%以下の事業</b> |   |
| ・参加される業者が10者で、入札に参加したのが9者ということか。  | ・10者の参加資格があり、1者辞退で9者が入札に参加した。   |
| ・入札参加者の9者中5者が調査基準価格以下だが、予定価格が高いということはないのか。  | ・文部科学省で定められた積算単価又は3者以上の専門業者から見積を徴取し最も安価な単価に査定率を乗じて予定価格を作成しているため、予定価格が高いことはないと考えている。 |
| ・見積を徴取する際の業者の選定はどのようにしているのか。  | ・原則3者以上の専門業者を選定して見積を徴取している。<br>・実績を持っている業者を選定している。                                  |
| ・入札業者と同一業者から徴取することがあるのか、その場合不都合はあるのか。   | ・同一業者から見積を徴取することはある。実勢価格で提出してもらっているため問題はない。   |
| ・見積を徴取した業者に手数料は支払っているか。   | ・手数料は支払っていない。   |
| ・電子入札と紙入札があるのか。   | ・原則電子入札を基本としているが、特別な事情の場合は紙入札と併用している。   |
| ・電子入札システムでは時間にならないと見られないのか  | ・入札及び開札時間を設定しているため、時間にならないと入札及び開札が出来ない。   |

## 別 紙

| 質 問   | 回 答  |
|---|--|
| <p>資料5：(黒髪北)総合研究棟(教育学部)改修電気設備工事<br/> <b>【一般競争入札(簡易型(拡大・施工計画なし))】</b><br/> <b>審議事項：競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの事業</b></p> |  |
| <p>・地理的条件で応募者が少ない可能性があるため、九州内に本支店又は営業所とあるが、基本的には熊本県内業者とする方針はないのか。</p>   | <p>・発注工事の規模や実情等を調査し条件を設定している。<br/>         ・本件は熊本県内にすると参加業者が少ない可能性があるため、複数の業者が参加できるように、九州内に拡大している。</p>                                     |
| <p>・国立大学法人は地元業者を優遇しているのか。</p>   | <p>・独立行政法人であるため地元業者を優遇することはない。<br/>         ・等級については、技術力を要する工事には高めに設定しているが、そうではない工事には低めに設定して熊本県内業者に限定する場合もある。</p>                          |
| <p>・3者中2者辞退であるが原因があるか。</p>  | <p>・辞退した業者に調査したところ、他工事の受注が決まったため配置予定技術者が配置出来ないためで辞退したとの回答であった。</p>   |
| <p>・評価値で落札を決定するのか。</p>  | <p>・総合評価の評価値(入札価格を技術点で除した値)の高いところが落札となる。</p>   |
| <p>・参加業者が少ないということで、地域を拡大しても1者しか入札に応じなく、見積で落札者を決定しているので、業者の言い値で行っているのではないか。</p>  | <p>・この時期の電気工事関係は太陽光発電等が大量に発注されていたため、職人がいない、手持ち工事が多くて受注出来なく参加者が少ない状況であった。<br/>         入札参加業者等に聞き取り調査を行った結果、受注出来るのとの回答であったため、見積を徴し落札した。</p> |
| <p>・最終的には随意契約で行ったということですか。</p>  | <p>・契約方式は随意契約となる。</p>  |
| <p>・見積金額が折り合わなかった場合はどうなるのか。</p>   | <p>・取り止めて、再公告となる。</p>  |
| <p>資料6：(京町)教育学部附属小学校体育館躯体改修工事<br/> <b>【一般競争入札(最低価格落札方式)】</b><br/> <b>審議事項：落札率50%以下の事業</b></p>                               |  |
| <p>・低入札調査を行うということだが、口頭で行うのか書類を出させるのか。</p>   | <p>・低入札価格調査の実施概要項目に沿って書類を出させて審査している。</p>   |
| <p>・低入札価格調査で過去に問題のあった工事について調査するのか。</p>  | <p>・低入札価格調査の実施概要の「信用状態」で書類を提出させて確認している。</p>  |
| <p>・低入札価格調査の項目は決まっていないのか</p>  | <p>・低入札価格調査の実施概要で項目を定めている。</p>   |
| <p>・過去に施工した公共工事について、受注者に確認するのか。</p>   | <p>・文部科学省関係工事の成績状況で確認する。</p>   |

## 別 紙

| 質 問   | 回 答   |
|---|---|
| <p>資料7：(黒髪南) 本部改修その他機械設備工事<br/>【一般競争入札(最低価格落札方式)】<br/>審議事項：<br/>・競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの事業<br/>・競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業</p> |   |
| <p>・予定価格と調査基準価格はどのように違うのか。</p>  | <p>・予定価格は上限価格であり、調査基準価格は予定価格算出の基礎となった直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の額に定められた割合を乗じて得た額の合計額であり、これを下回った場合低入札価格調査により適正な価格かどうかをチェックする。</p> |
| <p>・参加希望者が1者だった場合は入札の取り止めとはならないのか。</p>  | <p>・参加者が1者でも入札の取り止めにはならない。</p>  |
| <p>資料8：(医病) 管理棟改修機械設備工事<br/>【一般競争入札(総合評価落札方式(実績評価型))】<br/>審議事項：入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の事業</p>   |   |
| <p>・低入札価格とは。</p>  | <p>・調査基準価格を下回ったということ。</p>   |
| <p>・これは総合評価落札方式か。</p>   | <p>・総合評価落札方式で評価値の高いところを落札者としている。</p>  |
| <p>・見積を徴取した業者は等級で違いがあるのか。</p>   | <p>・特に違いはない。</p>  |
| <p>・5者中4者が低入札だがどのような原因が考えられるか。</p>  | <p>・本工事はエアコン等の機材費が予定価格の大半を占める工事であり、エアコン等の機材費を安く入手できるルートを持つ大企業が参加したことが原因の1つと考えている。</p>   |
| <p>資料9：(本荘中) 動物資源開発研究施設本館還水槽改修工事<br/>【一般競争入札(最低価格落札方式)】<br/>審議事項：競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの事業</p>                                  |   |
| <p>・調査基準価格を設定していない理由は。</p>  | <p>・予定価格が1000万円以上の工事の場合に調査基準価格を設定し、それ以下の場合には設定していない。</p>  |
| <p>・再公告を行っているが公募内容は同じか。</p>   | <p>・公募内容は変更していない。</p>   |
| <p>資料10：(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事<br/>【随意契約】<br/>審議事項：<br/>・随意契約のうち少額随契でない事業<br/>・6,000万円以上の工事で一般競争入札を行わなかった事業</p>                             |   |
| <p>・当初公告と再公告の工事内容は変更しているのか。</p>   | <p>・当初公告と工事仕様を変更して公告している。</p>   |
| <p>・辞退となった理由は何か。</p>  | <p>・資材の高騰が影響し入札額が高額であった。</p>  |
| <p>資料11：(本荘北) 臨床研究棟新営電気設備工事<br/>【一般競争入札(総合評価落札方式(簡易型))】<br/>審議事項：競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの事業</p>                                  |   |
| <p>・3者中2者が辞退だが何が原因か。</p>  | <p>・辞退した業者に調査したところ、他工事の受注が決まったため配置予定技術者が配置出来ないので辞退したとの回答であった。</p>   |
| <p>・2回目の入札は、いつ行ったのか。</p>  | <p>・本件は電子入札システムの不具合により紙入札で実施したため、2回目は即時実施した。</p>  |

## 別 紙

| 質 問  | 回 答  |
|--|--|
| 資料12：(宇留毛)国際交流会館B棟給湯設備工事<br>【一般競争入札(最低価格落札方式)】<br>審議事項：競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業 |  |
| ・特になし  |  |
| その他  |  |
| ・審査事項の①～⑦までを重要として抽出しているため、抽出した工事案件しか契約金額がわからない。その期間で最も契約金額が高い工事案件も審査するようにしたかどうか。   | ・今後は、契約一覧に契約金額を記載し、契約一覧で契約金額の高い工事案件も審査対象とする。   |
| ・今後のスケジュールについて説明願いたい。  | ・年1回の開催として、来年も3月頃に開催を予定している。<br>・審議内容は、今年度をベースとして進め、委員からの意見等を加味して案件を抽出してもらった上で、進行していきたいと考えている。 |